

項目	内容
名称	ラクツカリュームソウ、トゲハニガナ、ケジシャ、ワイルドレタス [英]Wild Lettuce、Lactucarium、Acric Lettuce、Green Endive、Lettuce Opium [学名]Lactuca virosa
概要	ラクツカリュームソウは、ヨーロッパ全土に分布するキク科の1または2年草で、高さ1～1.5 m程度に生長する。主に乳液および葉が利用される。
法規・制度	<p>■食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイルドレタス (ワイルドカナダレタス) 茎、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セスキテルペンラクトン (ラクツピクリン (lactupicrin) (33)、ラクツカリン (29)、ラクツセリン (29) (33)、ラクツシン (29) (101)、ラクツシン酸 (29)、ラクツコピコリン (lactucopicrin) (33) (101) )、トリテルペン類 (101)、フラボノイド類 (33)、クマリン (33) などを含む。</li> </ul>
分析法	-
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
	・前立腺肥大、狭隅角緑内障の人は使用禁忌。
有効性	(注：下記の内容は、文献検索した有効性情報を抜粋したものであり、その内容を新たに評価したり保証したりしたものではありません。) ・調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/21686920/">(PMID:21686920) BMJ Case Rep. 2009;2009:bcr06.2008.0134.</a>